


【件名】	既橋緊急補修工事（橋台上固定沓補修）	【事務所名】	第六建設事務所	
【工事場所】	東京都台東区蔵前二丁目地内から墨田区本所一丁目地内まで	【受注者名】	丸藤小林土木株式会社	
【工期】	令和3年10月28日から令和4年5月31日まで	【主たる技術者名】	主任技術者 依田 隆志	

【工事概要】

橋台上固定沓補修 10基

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は隅田川に架かる著名橋である既橋の緊急補修工事であった。今回補修した部材の損傷は橋全体の安全性に大きな影響を及ぼすものであった。受注者は本橋梁の重要度や構造細部を十分理解したうえで、現場施工に取り組んだ。特に狭隘な施工空間で多くの作業を調整しながら橋全体の安全性を常に観察し、注意深く現場作業を行うことが出来た。高い施工能力が求められる工事であったが、受注者は技術力を発揮し、所定の成果を挙げることが出来た。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
緊急補修工事であった為、現場を作りながら新たに確認された損傷箇所を協力会社や発注者と一丸となって何度も検討を重ね最適な措置を講じた施工計画書を作成し、業務を遂行した事が苦労しました。
- ◇ 特に工夫した点
固定沓補修工事の工程に橋座面のはつりがありましたが、狭小部でははつりが困難である事や、マイクロクラックを抑制するためコア削孔を検討しました。また、コア削孔により1日の進捗が明確に図れ予定していた工程通りに施工できました。
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
既橋は昭和4年に完成した著名橋であり、なるべく当時のままの形で損傷部の補修が行えた事、支承補修工完了後の異常振動が解消した時の達成感は今も覚えています。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
建設業は大変で過酷なイメージがありますが、決して一人でなく必ず仲間がいます。仲間と共に困難を乗り越えて出来たものは形だけでなく、かけがえのない仲間となります。自分はそのなかけがえのない仲間と出会える温かい職業であると心から思っています。



共に一つの現場を完成させた仲間です